

復興や教育現場

「視察が楽しみ」

米リバサイド市長
仙台市長を訪問

仙台市の姉妹都市、米国リバサイド市のラスティ・ベイリー市長が28日、仙台市役所を訪れ、奥山恵美子市長と会談した。

ベイリー市長の仙台訪問は2012年12月の就任後初めて。「東日本大震災からの復興状況や教育現場を見るのが楽しみだ」と語っ

た。奥山市長は「震災時に受けた手厚い支援に感謝している。今後も関係を深めたい」と歓迎した。

ベイリー市長は30日まで市内に滞在し、震災の津波

で被災した若林区の荒浜小を視察。東北大や常磐学園高も訪問し、市民による歓迎会などに参加する。

リバサイド市は仙台市が1957年に最初に国際

姉妹都市協定を結んだ都市。



市役所内にある「リバサイドの友好の鐘」を鳴らすベイリー市長（右）と奥山市長